

## 発刊にあたり

21世紀を迎え、豊かで潤いの有る社会を実現していくために、地域の方々の責任ある参加のもとに、社会資本整備や地域づくりに取り組んでいくことが強く求められております。

そのため、東北地方整備局としましては国民の皆様へ情報を分かりやすく提供し、またお互いが情報を共有化できるよう「アカウントビリティ(説明責任)の向上」に取り組んでまいりました。

これからも地域の方々と連携しながら、皆様の願いを実現できる地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

さて、当整備局におきましても、従来より、地域の小中学校と連携し、各種イベントへの参加、各種施設の見学会開催、河川の生態系調査や出前講座などに取り組んでまいりました。

平成14年度から学習指導要領のもと、学ぶ側の主体性を重視した「総合的な学習の時間」が本格的に運用されると聞いており、これに向けて取り組みを強化してきたところであります。

今後、東北地方整備局で持ちそなえている河川、道路や港湾・空港といったフィールドを提供し、「観察、実験、調査」などを通じて、より実践的、体験的な学習ができるように一層の支援を行っていくことを考えております。

この冊子は、東北地方整備局の「総合的な学習の時間」への支援について既に取り組んできた代表的な事例をもとに取りまとめたものです。

平成14年度からの本格実施への参考としていただければ幸いです。

国土交通省 東北地方整備局長

竹内義人

